

エコアクション21 環境活動レポート

省力化装置・産業ロボット・専用機械装置設計製作



私共は設計から組立、電気まで社内一括生産を行っております



運用期間 令和 5年 7月～令和 6年 6月

作成日 令和 6年 11月 25日

株式会社アニシス

【目 次】

1	環境活動レポート表紙	P 1
2	目次	P 2
3	事業活動の概要	P 3
4	社内組織図	P 4
5	環境経営方針	P 5
6	環境目標とその実績	P 6
7	主要な環境活動計画の内容と評価	P 7
8	主要な環境活動計画の次年度予定	P 8
9	環境目標の取組評価	P 9
10	社内外活動事項	P 10
11	環境関連法規への違反、訴訟の有無	P 11
12	調査報告書	P 12
13	訓練実施報告書	P 13
14	全体の評価と見直し	P 14

事業活動の概要

(1) 事業所名及び代表者名

事業所名 株式会社 アニシス
代表取締役社長 鈴木 貢

(2) 所在地

本社工場 〒422-8006 静岡県静岡市駿河区曲金5丁目16番17号
第二工場 〒422-8006 静岡県静岡市駿河区曲金5丁目17番17号
第三工場 〒422-8043 静岡県静岡市駿河区中田本町47番20号
*第三工場は認証登録の対象外

(3) 事業の内容：産業機械の設計及び製造

具体的な業務内容
(自動化機械装置や専用機械装置などの設計・製作・組立・電気設計)

(4) 建設業の許可

① 許可番号 静岡県知事 許可 (般-19) 第034797号
②許可年月日 令和5年2月15日～令和10年2月14日
③建設業の種類 機械器具設置工事業
*ただし、現地工事に関して許可の運用実績はありません

(5) 環境保全担当者及び連絡先

代表者 代表取締役社長 鈴木 貢
環境管理責任者 製造技術グループ 内海 伸彦
事務局（連絡担当者） 同上
電話番号 054-285-2446
FAX 054-285-6781
E-mail anisys-n-uchiumi@po4.across.or.jp

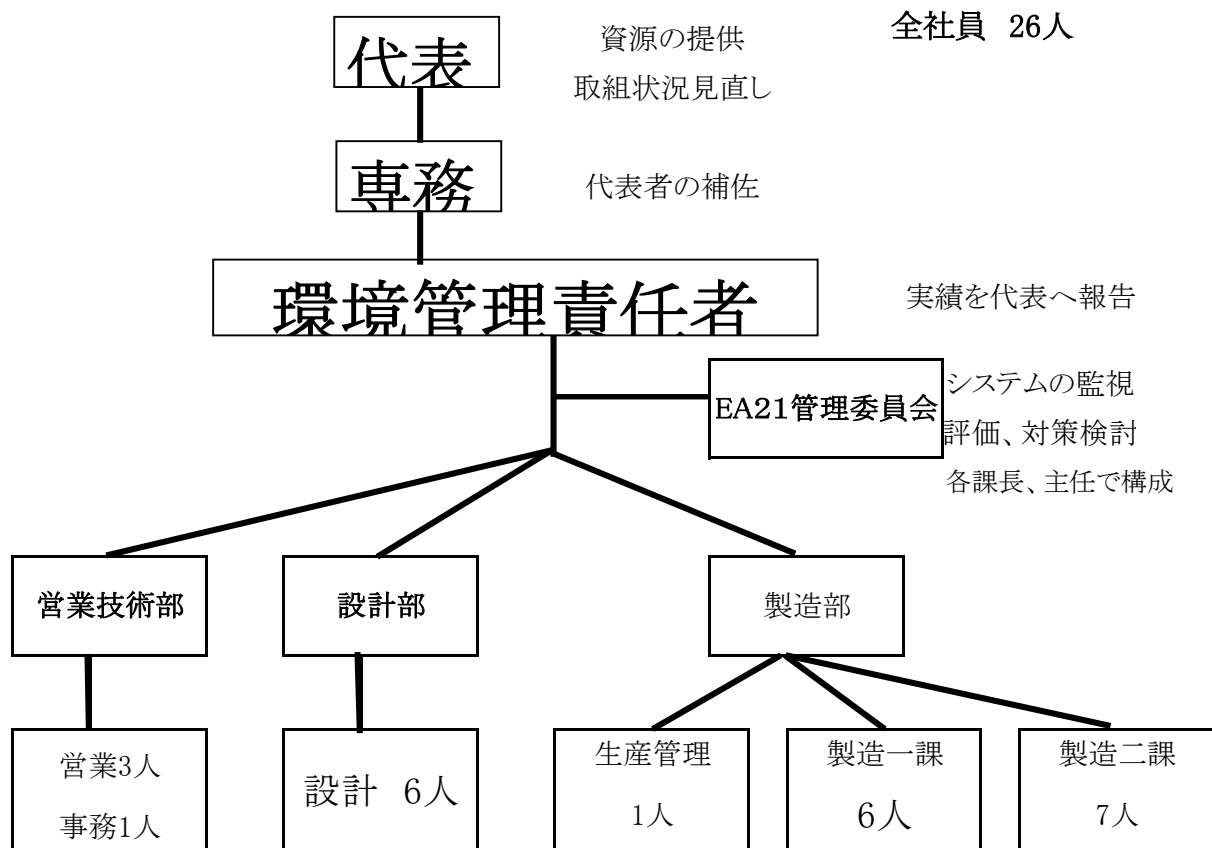
(6) 事業の規模

従業員数 26人 (令和6年6月現在)
敷地面積 1,571m² (本社工場・第二工場)

(7) 対象範囲 全事業・全活動をエコアクションの対象とする

*第三工場については、令和7年度内に登録予定

社内組織図



各所属部署に於いて、部署責任者を決め各部署の活動目標を策定し、部署内に周知させ、環境方針の展開指導を行う。

【各担当の役割】

① 代表取締役

- ・ 環境経営システムの構築
- ・ 環境管理責任者の任命
- ・ 環境方針の決定、見直し
- ・ 経営資源の準備
- ・ 緊急事態発生時の統括

② 環境管理責任者

- ・ 環境経営システムの運用
- ・ 環境方針、環境目標
環境活動計画の立案
- ・ 環境関連教育、訓練の統括
- ・ 経営資源の準備
- ・ 代表取締役が行う環境経営システム
見直しの為の情報提供

③ 部門管理者

- ・ 環境活動計画の推進
- ・ 該当環境関連法規等の遵守
- ・ 緊急事態及び問題点が発生した場合、その処置と報告

④ EA21管理委員会

- ・ 環境経営システムの監視
- ・ 環境経営システムの評価
- ・ 環境経営システムの検討、対策
- ・ 環境経営システムの是正

環 境 経 営 方 針

基本理念

我社は地球環境の健全化を常に意識し、産業機械の設計製造を通じて、次世代の人々が夢と希望と安心を永遠に持てる明るい社会であるよう、地球環境向上のために活動し、環境経営の継続的改善を計る。

基本方針

- 1 消費エネルギーの削減により二酸化炭素の排出を低減します。
 - (1) 電力消費量の削減
 - (2) 燃料消費量の削減
 - (3) 水使用量の削減
- 2 廃棄物を削減し物を大事にするよう心がけます。
 - (1) ゴミの分別を細分化し資源化に努めます。
 - (2) 再生品をできるだけ使用します。
- 3 化学物質排出量の適正管理、グリーン購入の推進をします。
- 4 我社製作の装置をできるだけ最小のエネルギーで使えるよう設計し、客先の消費エネルギーを削減します。
- 5 環境関連の法規制及び当社が同意する、その他の要求事項を遵守します。
- 6 この方針を掲示し、全社員に周知させ、環境保全の意識を高め、自発的な取り組みをしていきます。

制定日 平成18年 7月22日

改定日 令和2年 11月16日

株式会社 アニシス

代表取締役社長 鈴木 貢

環境目標とその実績

1. 環境目標

環境目標

二酸化炭素の削減

省エネ設計の御客様普及

環境を考慮した自社製品の販売促進

令和5年度 実績値は令和5年7月～令和6年6月

		単位	基準年(令和1年度)	令和4年度目標/実績	令和5年度目標/実績	令和6年度目標/実績
二酸化炭素 の削減	二酸化炭素総排出量	kg-CO2/百万円	249.10	248.35	247.60	246.60
	令和6年度までに1%削減する			220.71	182.02	
	購入電力の使用量削減 *1	Kwh/百万円	109.46	109.13	108.80	108.36
	令和6年度までに1%削減する			102.37	78.21	
	ガスの使用量	kg/百万円	3.79	3.77	3.76	3.75
	令和6年度までに1%削減する			3.73	3.38	
	ガソリン使用量	L	8,564	8,538	8,512	8,478
	令和6年度までに1%削減する			7,859	8,415	
	軽油使用量	L	860	857	854	851
	令和6年度までに1%削減する			641	1,264	
	灯油使用量	L	648	646	644	641
	令和6年度までに1%削減する			388	908	
廃棄物の削減		t	24.80	24.70	24.60	24.50
令和6年度までに1%削減する				14.3	23.3	
水使用量の削減		m³	224	223	222	221
令和6年度までに1%削減する				160	194	
省エネ設計をお客様に普及させる		%	49%	50%	50%	50%
				49%	49%	
化学物質使用量の削減		塗装用化学物質の適正管理をおこなう				
グリーン購入の推進		事務用品のグリーン購入効率向上				
二酸化炭素総排出量		kg-CO2	138748.91	130037.31	156899.84	

*1 購入電力係数は0.485(kg-CO2/kwh)で算出しております。

(事業者別排出係数一覧 平成28年度実績 平成29年12月21日公表)

*2 各年度の目標は、目標達成年度までの均等割り付けにて、算出しています。

- * 工場内設備のグリーン購入は、目標設定が難しく活動のみとする。
- * 購入電力とガス使用量の数値を百万円に対しての値にし、売上げ上昇時でも容易に判断出来る様にしました。
- * 省エネの目的は、「コスト削減」「エネルギー資源の有効利用」「地球温暖化防止」「法令遵守」を定義しています。
- * 令和1年度(基準年)対比、令和6年度までに1%削減目標とする

主要な環境活動計画の内容と評価(令和5年度)

評価基準・・・取組終了○ 未着手× 新規取組＊

令和6年6月30日現在

取 組 み 項 目		環 境 活 動	担当	取組時期	評価	取組内容、改善対策
二 酸 化 炭 素 削 減	1、電力使用量の削減	昼休み、終業後の蛍光灯電源OFFの全社員徹底	各部署	通年	○	全社員の意識内に消灯徹底完了
		昼休み、終業後のパソコン電源OFFの利用者徹底	各部署	通年	○	利用者に徹底継続中
		エアコン設定温度の徹底を図る(冷房は28度設定)	営業	7～8月	×	事務所内エアコン使用時間を決める
		メンテナンスを定期的に行い効率を良くする	鈴木	9月	○	業者に定期的にメンテナンス依頼
	2、廃棄物の削減	受注数分の発注を徹底し、在庫は極力持たない	杉山	物件ごと	×	資材の削減、購入品の管理
		図面、購入品リストのペーパーレス化	江間	7～12月	○	部品、購入品をパソコンにてチェック
		不燃物とドリル切り粉の分別	杉田	通年	○	ボール盤横に、切り粉専用一斗缶設置
		劣化したポスター、看板を新規設置	杉田	7月	○	工場内にゴミ置き場の看板設置
	3、ガス使用量の削減	温度、使用時間を設定する	内海	夏季7～8月	×	第2工場 of エアコン設定温度管理実施
		メンテナンスを定期的に行い効率を良くする	杉田	冬季12～1月	○	業者に定期的にメンテナンス依頼
	4、燃料使用量の削減	トラックによる物件ごとの搬入検討	杉田	物件ごと	○	部内で相談しまとめて外部運搬を実施
		新規購入ジェットヒーター管理	杉山	11～2月	○	使用時間の設定
	5、水使用量の削減	手洗い時蛇口の開放厳禁	杉田	6～9月	○	蛇口をハンドルからレバーに変更
		トイレ清掃用ホース先端にノズルを設置	杉田	通年	○	掃除時間短縮
		手洗い場蛇口付近に節水を促す掲示パネル設置	各部署	6～8月	○	節水看板取り付け
	6、省エネ設計	御客様の消費を考え設計する	設計	物件ごと	○	* メーカーによる省エネのセミナーの参加
		省エネ展示会への参加	全社員	7～12月	○	* メーカーによる省エネのセミナーの参加
	7、化学物質排出量の管理	塗装溶剤の適正管理	岩邊	物件ごと	○	業者よりSDS手配、管理
	8、グリーン購入の推進	事務用品の効率化	総務	通年	×	購入品リストの作成し検討する
	9、悪臭防止	日常的に悪臭を出さない	全社員	通年	○	工場内の定期的に検査

次年度の環境活動計画の予定（令和6年度）

区分 取り組み継続 ○ 新取り組み *

取 組 み 項 目		環 境 活 動	担当	区分	完了日	7	9	11	1	3	5	6
二 酸 化 炭 素 削 減	1. 電気使用量の削減 令和6年度0.3%削減	休み時間、終業後の蛍光灯電源OFFの全社員徹底	各部署	○	通年							→
		休み時間、終業後のパソコン電源OFFの利用者徹底	各部署	○	通年							→
		昼間の使用時間の管理	各部署	*	通年							→
		本社工場、第2工場の水銀灯をLED化促進	杉田	*	検討							→
	2. 廃棄物の削減 令和6年度0.3%削減	適切な購入品注文を徹底し、在庫は極力持たない	設計者	○	通年							→
		ダンボールは基本が廃棄であり再利用出来ると判断した	杉田	○	通年							→
		場合には社内にて再利用するよう徹底する		○								→
		ペーパーレス化促進	杉田	*	通年							→
	3. ガス使用量の削減 令和6年度0.3%削減	メンテナンスを定期的に行い効率を良くする	佐々木	○	通年							→
		第二工場のカスエアコンの温度管理、使用時間削減	内海	○	通年							→
		設計室のカスエアコンの温度管理、使用時間削減	設計	○	通年							→
	4. 化石燃料の削減 令和6年度0.3%削減	搬入等、出張時の車台数を減らす	杉田	○	通年							→
		客先打ち合わせ等の車台数を減らす	設計	○	通年							→
	5. 水使用量の削減 令和6年度0.3%削減	朝礼の連絡時、手洗いの節水を促す声かけをする	杉田	○	通年							→
			杉田	○	通年							→
	6、省エネ設計	御客様の消費を考え設計する	設計	○	随時							→
		定期時期に訪問し消費状況を確認する	設計	○	随時							→
		購入品も消費出来るか検討し採用していく	設計	○	随時							→
	7、化学物質排出量の管	塗装用溶剤の適正管理	岩邊	○	随時							→
	8、グリーン購入の推進	事務用品の効率化	総務	○	随時							→

環境目標の取組評価

令和5年度 実績値は令和5年7月～令和6年6月

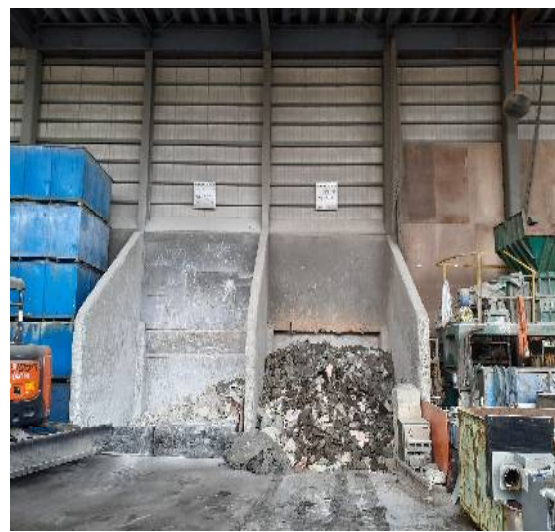
項 目	令和5年度目標数値	令和5年度実績値	評 価		取組結果の反省及び改善対策
			達成率	○△×	
二酸化炭素の削減	247.60 (kg-co2/100万)	182.02 (kg-co2/100万)	136.0%	○	会社全体の業績が前年より大幅に良くなった。 工場内での仕事量が増加、電気、軽油は増加したが 売上が大幅に上がり二酸化炭素削減となった。
電力使用量の削減	108.80(kwh/100万)	78.21(kwh/100万)	139.1%	○	社内、出張での仕事量が増えたが売り上げに対しては 工場内の電灯消費量が減少した
ガス使用量の削減	3.76(kg/100万)	3.38(kg/100万)	111.2%	○	夏場の温度上昇により、エアコンの使用時間が伸びて ガス使用量が増えて削減目標に至らなかった。
ガソリンの削減	8512L	8415L	101.2%	○	出張の仕事量が多くガソリンが増えたが 目標はクリアしている
軽油の削減	857L	1264L	67.8%	×	出張の仕事量が多く軽油が増えた、大型の機械設備の 搬送する仕事が多く目標達成出来なかった。
灯油の削減	646L	908L	71.1%	×	仕事量が増加し、冬場での暖房等に多く使用し目標達成 出来なかった。
廃棄物の削減	24.70t	23.3t	106.0%	○	会社の業績が昨年より上向きにより廃棄物が増加した 今後、削減目標にたいして3%以上の削減を心掛ける。
水使用量の削減	223m ³	194m ³	114.0%	○	通常通りの使用で目標は達成出来た。
省エネ設計の普及	50%	49%	98%	△	お客様に低コスト、省エネの設備の提案
化学物質の使用量管理	適正管理	適正管理		○	塗装用化学物質の適正管理をおこない在庫を減らす
○	目標をクリアした	達成率が100%以上			
△	目標まで後もう少し	達成率が80%以上100%未満			
×	目標をクリアできなかった	達成率が80%未満			

(令和1年度を基準とする目標設定)

社内外活動事項



エコアクション21説明会 (6月24日)



産廃業者視察

総合美装ワタナベ 様 (3月25日)



地震災害を想定した
避難訓練
(6月17日)

環境関連法規への違反、訴訟の有無

遵守評価日：令和6年6月30日

関連する法律名称	該当する事業内容	遵法評価(本社)	遵法評価(第二)	評価者
騒音規制法	特定施設の届け出 *1 本社	○		内海
	特定施設の届け出 *1 第二工場		○	内海
	本社 第2種区域 騒音55デシベル以下	○		内海
	第2工場 第4種区域 騒音70デシベル以下		○	内海
悪臭防止法	第1号敷地境界線の臭気指数10の遵守	○	○	内海
	日常業務にて臭いの確認			
廃棄物の処理及び清掃に関する法律(廃棄物処理法)	委託契約書締結	○	○	内海
	マニフェストを発行する	○	○	内海
	業者からマニフェストを回収する	○	○	内海
	管理票交付等状況を静岡市長に報告	○	○	内海
フロン排出抑制法	簡易点検(年4回)対象室外機 本社1台、第二工場3台	○	○	内海
	定期点検(年に1回以上)対象室外機 第二工場3台	該当しない	○	業者
PRTR法	塗装溶剤使用量(1t未満)の為、規制対象工場ではないが自主管理を行う	○	該当しない	内海
消防法	消防設備定期点検(年1回)	○	○	内海
静岡市災害予防条例	少量危険物届け出	○	○	社長
静岡市産業廃棄物の適正な処理に関する条例	毎年1回以上定期的に処分の実地確認	○	該当しない	社長
	産業廃棄物管理責任者の選任	○		社長

*1特定施設：空気圧縮機及び送風機(本社1台、第2工場1台)、金属加工機械(本社11台、第2工場3台)

以上の項目をふまえて自己チェックを行い違反等ない事を確認しました。

また、環境関連法規違反 及び 苦情等について関係機関等からの注意、指摘事項は

過去16年間ありませんでした。関係者からの訴訟等ありませんでした。

訓練実施報告書

施 設 名	(株)アニシス			
実 施 日 時	2024年 6月 17日 (月) 16：30～			
実 施 場 所	(株)アニシス 本社工場			
想 定 災 害	地震災害			
訓 練 種 類	避難経路の確認訓練 情報伝達訓練 広域避難場所経路確認			
訓 練 参 加 人 数	全社員の内 18名			
訓 練 実 施 責 任 者	社長 鈴木 貢			
確 認 事 項	避難に要した人数	18名	避難に要した時間	20分
	避難先や避難経路の安全性			
	その他	ハザードマップを確認して本社工場の浸水深を確認		
訓 練 に よ っ て 確 認 さ れ た 課 題 と そ の 改 善 方 法 等	地震災害時は本社工場、第二工場の被害状況を確認して 集合場所の指示をする 安否確認方法等を確立する 広域避難場所経路の掲示			
訓 練 記 録 作 成 者	製造グループ 内海 伸彦			

全体の評価と見直し

本年度は大型物件の受注及び納入があり売上、経常利益共に過去最高となりました。しかし大型案件を差し引くと平年に比べ押し並べて低く、決して良い景況感ではありませんでした。少ない案件数で利益を確実に確保出来たのは、社員の努力のお陰だと考えております。

昨年 10 月から本社事務所の建て替え及び、本社工場の改修を始め、約 1 年、本年 10 月末に完了致しました。これを機に避難訓練の実施や、新入社員の勉強会を開催しました。また、工場照明の LED 化やエアコンは台数が増えましたが、省エネタイプを採用するなど、来期はより一層電力削減が見込めます。

来期の景気も引き続き低調な状況が予測され、しばらく続く恐れもあります。それでも春先からは自動車関係を中心に好転する話も聞いていますが、来期はかなり厳しい業績となる見込みです。その様な中で省エネ意識を周知、徹底する事が結果、利益にも通ずると考えております。引き続きエコアクションに注力してまいります。

尚、環境経営方針、環境経営計画、実施体制は、例年通り実施します。

2024 年 11 月 22 日

株式会社アニス 代表取締役社長 鈴木貢